

令和7年度 「総合的な探究の時間」 全体計画

愛媛県立南宇和高等学校

本校の教育目標	生徒の実態
自由闊達で進取の気風を持ち、広く高い知性を求めて深く学び、豊かな未来を創造する個性あふれる生徒を育成する。 1 校訓 真知 闊達 創造 2 指導目標 「知性を伸ばし、個性を磨く」 3 重点努力目標 「起こせ！ イノベーション」 ー 地域の発展に貢献する人材の育成 ー	寛容で融和的であり、物事にこだわりのない。優しく親切であり、純真な心を持っているが、自律心が弱く、それを土台とした公共心及び規範意識が十分に育っていない。また、一般常識の定着が弱く、地元を誇りに思う気持ちも弱いいため、そのことが自信を持って行動することや自尊感情のかん養の妨げとなっている。
	保護者・地域の願い
	個々の生徒に応じた教育を充実させ、進路を実現するとともに、地域で学び、地域を支え、次代を担う生徒を育てほしい。

総合的な探究の時間 「地域未来探究」 の目標（育成することを目指す資質・能力）
地域の課題解決に向けた横断的かつ総合的な学習や、生徒の興味・関心等に基づく自立的な探究を通じて、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。また、情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表の仕方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育成し、自己の在り方生き方についての自覚を深める。さらに、自ら問いを見出し探究する力の育成と社会の変化に対応できるよう他者と協働する資質や能力の育成を重視し、この「地域未来探究」を推進する。

対象	目標	学習内容	指導方法・指導体制	学習の評価
1年	課題の発見と解決 ①現代の社会における諸課題から問いを見出し、それらを解決する態度や能力を育成する。 ②地域の課題を発見し、探究する力や社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を育成する。	○オリエンテーション ○研究テーマの設定 ○研究計画を立てる ○地域に学ぶ ○分析と表現 ○計画の検討 ○フィールドワーク ○まとめと発表	「地域づくり探究Ⅰ」 生徒の興味・関心から研究テーマを設定し、それらに応じた講座を編成する。講座の編成は1、2年生で行い、教員は教科の特性に応じて担当を決定する。また、地域の関係機関と連携を図り、フィールドワーク等を積極的に行う。	○課題の設定・情報収集 【知識・技能】 ○研究発表会の実施やレポートの作成 【思考・判断・表現】 ○取組の状況・学習態度 【主体的に学習に取り組む態度】
2年	課題の設定と探究 ①地域づくり探究Ⅰの継続研究を通して、自発的・創造的な学習態度や問題解決能力の育成を図る。 ②地域との関わりから問題点を見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できる力を育成する。	○オリエンテーション ○研究テーマの再考 ○研究計画を立てる ○地域に学ぶ ○分析と表現 ○計画の検討 ○フィールドワーク ○まとめと発表	「地域づくり探究Ⅱ」 地域づくり探究Ⅰで取り組んだ研究内容を深化させるため、研究テーマを再考し、研究計画を立てる。引き続き、地域の関係機関との連携を密にし、フィールドワーク等を積極的に行い、情報収集力・分析力を高める。	○課題の再考・情報収集 【知識・技能】 ○研究発表会の実施やレポートの作成 【思考・判断・表現】 ○取組の状況・学習態度 【主体的に学習に取り組む態度】
3年	よりよい社会の実現 ①身に付けた知識を現実生活や今後の進路選択に応用し、豊かな社会を築くことに積極的に寄与し、協働する意欲や態度を育む。 ②自己の在り方生き方や進路について考察する学習を通して、進路選択に必要な能力や態度を養わせる。	＜共通＞ ○主権者・消費者教育 ＜就職講座＞ ○書類の書き方 ○企業研究・面接練習 ○ライフプラン ＜進学講座＞ ○学部・学科研究 ○入試について ○面接・小論文対策	「未来づくり探究」 就職、進学と進路希望別に講座を振り分け、各自の課題に取り組ませる。また、進路課と連携し、ガイダンスや座談会などの企画を取り入れる。まとめとして、生徒が取り組んできたことを後輩に伝える活動を行う。	○面接練習などにおける自己評価と相互評価 【知識・技能】 ○履歴書や小論文などの作成 【思考・判断・表現】 ○取組の状況・学習態度 【主体的に学習に取り組む態度】

各教科との関連	地域との連携	中学校や就職先、進学先との連携
各教科・科目の枠を越えた横断的・総合的な学習となるよう配慮する。また、各教科の指導においても各種コンクール等への応募などを通して、生徒の進路実現につなげる。	テーマ別学習やフィールドワークなどを通して、社会性、協調性を身に付けさせ、他者との協働により、地域社会に求められる人材の育成を目指す。	中高連絡協議会や企業訪問及び大学説明会への参加を通して、十分な情報交換を行い、生徒個人の在り方生き方への指導に役立てる。